

## 熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(人文社会科学研究部(文学系))

<b>目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</b>
文学部では授業「ジェンダー入門」を以前より継続して開講している。この授業の主な目標は男女共同参画の必要性を学生に周知することである。これに加え、各教員の自発的な取り組みとして、担当授業にジェンダー論的視点を取り入れた授業も行われている。「コミュニケーション情報学入門」、「社会学概論」、「芸術学概論II」、「日本文学概論I」、「世界システム史講読」、「比較文学基礎演習」などの授業がそうである。こうした授業に触発される学生も少なくなく、例年、複数の学生がジェンダーにかかわるテーマで卒業論文を執筆しているが、そうした学生への研究指導も充実している。
<b>目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</b>
それぞれの部署で引き続き努力している。
<b>目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</b>
授業「ジェンダー入門」を継続して開講し、男女共同参画に積極的な人材の育成に努めている。
<b>目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</b>
人文社会科学研究部(文学系)は、令和3年4月1日付けで2名の女性教員を採用した。人文社会科学研究部(文学系)に所属する女性教員の数は確実に増加している。
<b>その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。</b>
特になし。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。